

ななかま

冬は朝 林の向こうに 現れる
オリオンの 振り下ろす 霜柱

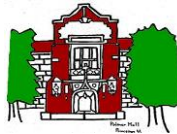


プリンストン日本語学校新聞

平成26年度 No.27号

平成26年11月23日

文責 長尾重範 nagao@pcjls.org



「第三世界諸国の子女教育」

ディジョージ エミリー

行事予定表

- 11月23日 表彰式(表現学習発表会入賞者対象) 14:35
総務オフィス会議
- 11月23日 学芸会打合せ (30日リハーサル)
※11月27・28日、事務所はお休みです (Thanksgiving Day)
- 11月30日 学習発表会打合せ (12月7日リハーサル)
- 12月7日 理事会
- 12月14日 学芸会 (14:00~15:15)
学習発表会 (15:30~17:40)
- 1月4日 11日 書き初め

表現学習発表会の入賞者を紹介します。

- 最優秀賞 中1 佐藤麗奈「尊敬それとも嫉妬？」
- 優秀賞 高 諫山智花「バラ色の人生」
- 優秀賞 高 高木真里奈「活躍する日本人」
- 審査員賞 中2 ディジョージエミリー「第三世界諸国の子女教育」
- 審査員賞 P 宮林 海「私が走る理由」
- 生徒が選んだ優秀賞
- 一日目 高 武笠みのり「選択肢」
- 二日目 高 ヌーデルえみり「日本の美人、アメリカの美人」
- 原稿は順次紹介します。

記憶力の話

円周率をそらんじることに挑戦している人のドキュメンタリ番組が、TV Japan で以前に放映されていた。信じられないほどの桁数を覚えられるらしい。世の中には優れて記憶力の良い人がいるようだが、ほとんどの人はもっと記憶力がよくなればよいと思っている。特に様々な試験でよい成績を取るためには記憶力の良い方が断然有利である。たとえ記憶力だけでは解けない問題を出題されても、解法の手順書きを覚えれば解決できるのだから、やっぱり有利である。

どうも覚えるにはコツがあるようだ。九九や、ゴロ合わせで覚えた年号や好きな歌の歌詞などは長く記憶に残っているが、人の名前などはなかなか覚えられない。ところが名前は出て来なくてもその人の顔や印象は思い出せる。闇雲に覚えるよりは、一工夫して覚えて、それを繰り返す機会を持つことが必要なのだろう。そこで、当たり前だけれど記憶するコツをあらためてあげてみた。①繰り返し覚える ②物語にして覚える ③立体的に覚える ④繰り返し使う ⑤ひとに教える

日本やアメリカでは当たり前のように受けている教育ですが他の国々では、教育を受けるという選択さえないところがたくさんあります。今現在、私たちはテストのグレードなどにばかりこだわって本当は、学ぶということの目的を見失ってしまっています。

学習することとは、私たちの好奇心を満たすために新しい世界で新しい視点から見ることです。私たちは、空を見上げれば星座を言い当てることもできるし、植物がどのように育つのか掛け算も割り算も普通に知っています。将来の夢や、目標に向かって勉強もできます。でも、世界中のたくさんの方では勉強することも、成功することも、努力することで夢がかなったりすることもできない人たちがたくさんいます。

今現在、6600万人の女の子が学校へ行くことができません。もしも、世界中の女の子が教育を受けることができたなら、約一年で貧困から逃れることができるか知っていますか？ MALALA YOUSAFI という人の話があります。マララはパキスタンにある学校へ通っていました。タリバン政府は女性への教育を禁じています。マララは、何度もタリバン政府に学校へ行くことを止められましたが、通い続けました。ある日通学途中にバスに乗っていた彼女は銃撃されて大怪我をおきました。

今、彼女はすでに回復しイギリスのバーミンガムの学校へ通いながら、世界中の同じ境遇にいる女性のために国連に女性がみな平等に教育を受けられるようにと訴えています。今年マララはノーベル平和賞を受賞しました。彼女は、頭部の骨を少し失ってしまいましたが、世界の女性のための教育のためにこれからもずっと高い志を持ち続けて戦い続けていくことなのでしょう。

もしあなたが、学校の成績が落ちてしまって落ち込んだり、イライラしたら、勉強ができるだけでも超ラッキーなんだということを思い出してみてください。

来年度の発表のために

今年の表現学習発表会の振り返りとして、本来聴衆に訴える内容であるべきなのに、原稿をそのまま読んでいる人がとても多いのが気になりました。来年は、今年以上に聴衆を説得する力強い発表を期待します。